

## 目次

まえがき

第一章 キツネと人

第二章 一九六五年の革命

第三章 キツネにだまされる能力

第四章 歴史と「みえない歴史」

第五章 歴史哲学とキツネの物語

第六章 人はなぜキツネにだまされなくなったのか

あとがき